

意見提出フォーマット

意見提出元	地域WiMAX推進協議会
-------	--------------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望（2015年ごろや2020年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど）	モバイルなシステムであっても、日常的には地元、地域での使用が多い。地域のユビタス・ネットワークとして、地域特有のアプリケーション、地域公共サービス等、地域振興、公共の福祉のためにその利便性を発揮させて、地域情報化、ブロードバンド化を図りたい。 今後、動画等データ量の増大に伴い、こうしたシステムにおいても一定程度の帯域確保が必要と思われます。
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題（周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備）	
(3) 関連する国内外の動向と課題	
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	

地域のユビキタス・ネットワーク(ワイヤレスブロードバンド) サービスモデル



サービスモデル

- ・使うシステムはワールドワイドでモバイルなものであっても、地域のユビキタス・ネットワークとして地域主体、地域単位で使うモデル。ワイヤレスで規格、標準化されたシステムという特性を活かして、容易に、低コストにブロードバンドな環境を整備でき、地元の事業者が行政や地域と連携して、様々なアプリケーションをのせてきめ細かな住民サービスや情報通信の手段とすることができる。今後は動画等、データ量の増大により、一定程度の帯域確保が必要となることも予想される。